

令和2年度下半期 地域経済景況調査報告書

大東商工会議所
大 東 市

○目 的

地域経済の景況を把握するため、市内事業所を対象に景況調査を半期毎に年2回実施する。
調査概要は以下の通り。

- 方 法 往復はがきによるアンケート方式、窓口等でも依頼・回収
- 調査期間 令和2年10月～令和3年3月
- 対 象 市内の1498事業所
- 回答状況 回答事業所 324社（令和3年4月30日現在）

（業種）

非製造業	製造業	116社	35.8%
	建設業	46社	14.2%
	卸売業	27社	8.3%
	小売業	46社	14.2%
	飲食店	18社	5.6%
	サービス業	71社	21.9%
	非製造業計	208社	64.2%
合 計	324社	100.0%	

（従業員規模）

0～5人	179社	55.2%
6～20人	87社	26.9%
21～50人	26社	8.0%
51～100人	15社	4.6%
101人以上	17社	5.3%
合 計	324社	100.0%

※四捨五入により合計が100.0%にならない場合がある

○調査データ

調査の結果を示す指標としてDI指数を採用した。DI指数とは、Diffusion Index（景気動向指数）の略で、各調査項目について「増加」・「好転」した等とする企業割合から「減少」・「悪化」した等とする企業割合を差し引いた数値である。即ち、プラスは上昇・増加・黒字基調等の企業割合が上回り、マイナスは下降・減少・赤字基調等の企業割合が上回ったことを示す。

【全国の景況】

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。

- ・個人消費は、このところ弱含んでいる。
- ・設備投資は、持ち直している。
- ・輸出は、増加テンポが緩やかになっている。
- ・生産は、持ち直している。
- ・企業収益は、感染症の影響により、非製造業では弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している。
- 企業の業況判断は、厳しさは残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- ・雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。
- ・消費者物価は、横ばいとなっている。

先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

* 内閣府発表 月例経済報告（令和3年4月）による

【大東市の概要】

今回の調査結果では、前回の令和2年度上半期から多くの調査項目で改善傾向がみられたものの、大阪府の指標との比較では「製・商品単価」など3項目以外では全ての項目で下回り、依然として厳しい状況が示された。また、調査期間が「まん延防止等重点措置」の大阪府の適用期間と重なったこともあり先行き不透明感を懸念する声が多数みられた。その他、今回は「テレワークの導入」に関する調査を行ったところ、「導入した(11%)」「導入予定(6%)」を除き8割以上の回答が「導入予定なし」で、本市でもテレワーク導入余地の大きいことがみてとれた。

	出荷・売上高	製・商品単価	原材料価格	営業利益	採算状況	資金繰り	雇用状況	設備投資	来期の業況見通し
製造業									
非製造業									

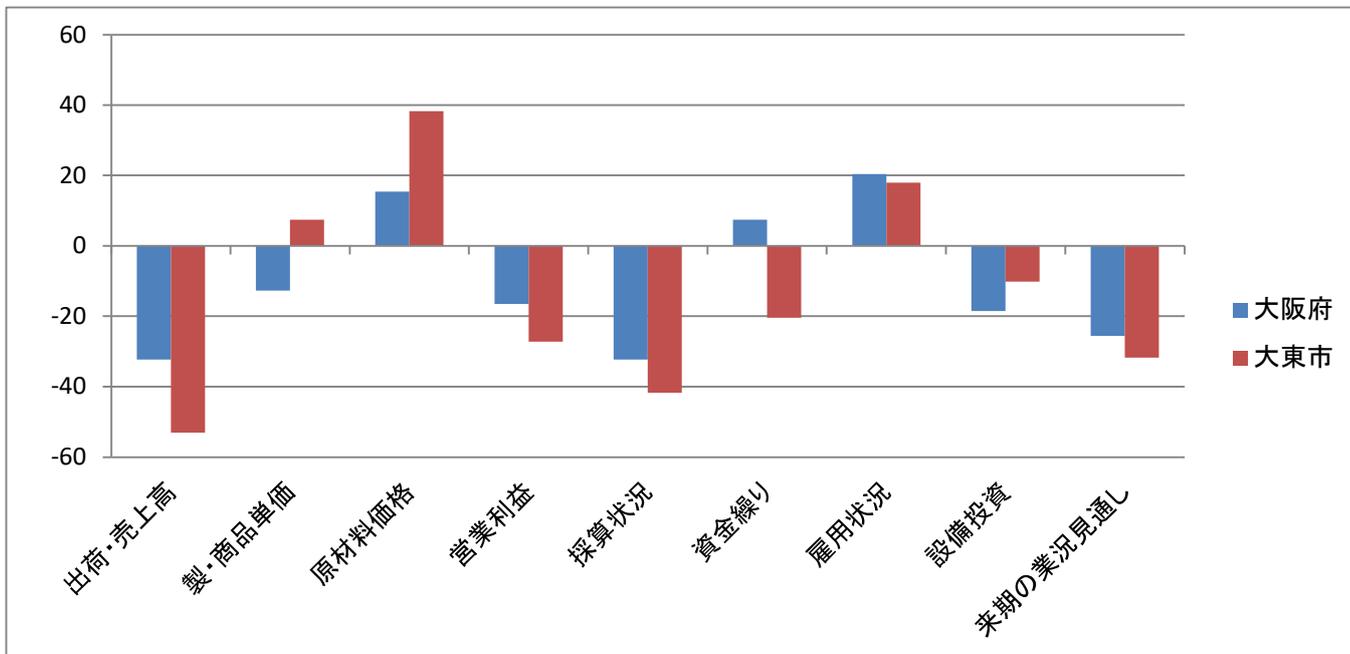
DI値: … 5以上 … -5～5未満 … -15～-5未満 … -25～-15未満 … -25未満

* 原材料価格及び雇用状況に関しては、数値を反転して評価する。

【大東市内企業の景況及び大阪府との比較】

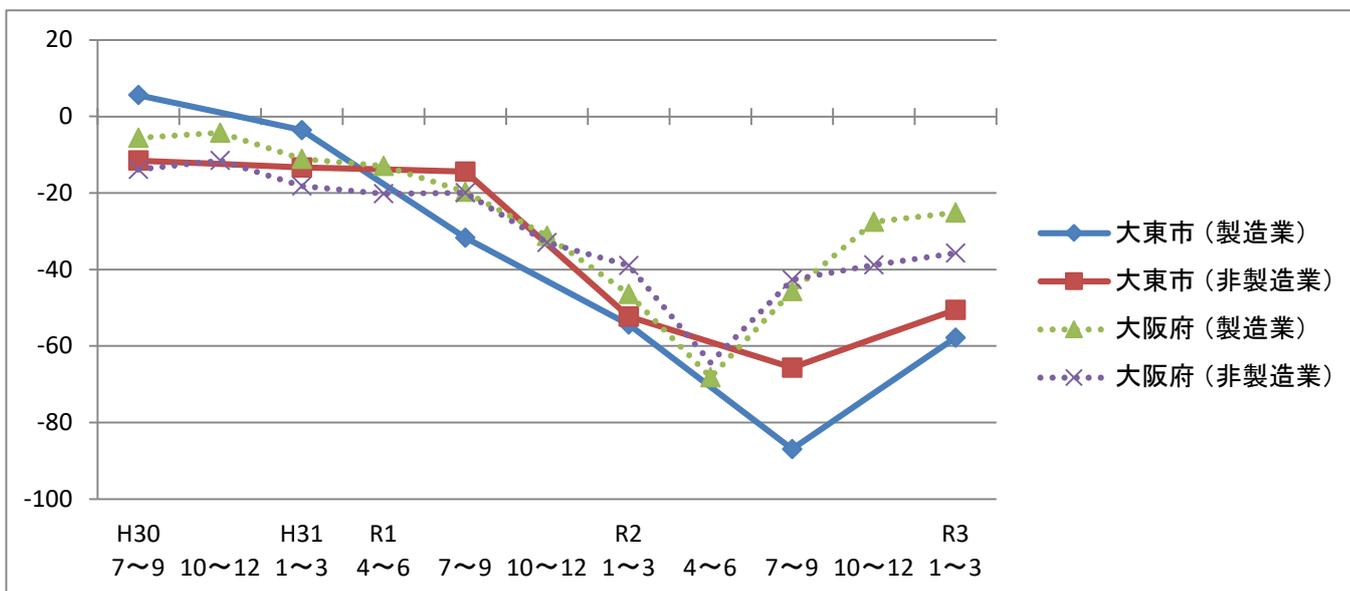
DIのまとめ（大阪府との比較）

大阪府の指標との比較では、大東市内企業は「製・商品単価」「雇用状況」「設備投資」で上回ったものの他の項目は大阪府の指標よりもマイナスであった。なかでも、「出荷・売上高」「原材料価格」「営業利益」「資金繰り」の項目は大阪府の指標を大きく下回り、今回は「来期見通し」も府の指標を下回った。



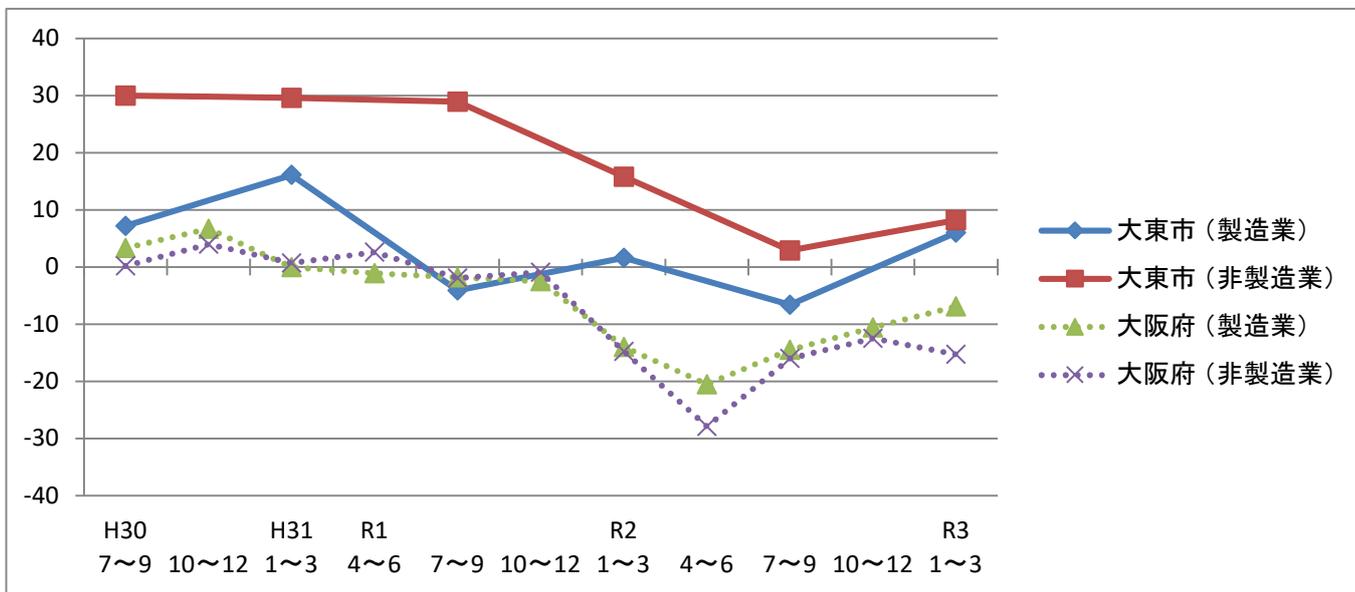
○出荷・売上高

出荷・売上高DI(「増加」-「減少」企業割合)⇒ 製造業:-57.8% 非製造業:-50.5%
 前回調査結果(製造業:-86.9%、非製造業:-65.6%)から、製造業・非製造業ともに改善した。
 但し、直近の大阪府データ(製造業:-25.1%、非製造業:-35.7%)との比較では、製造業で32.7ポイント、非製造業では14.8ポイントそれぞれ下回った。大東市内においては、なかでも飲食店の厳しさが際立ち、売上増加の店舗はゼロで、-94.4%の結果となった。建設業(-60.9%)も厳しい状況となっている。



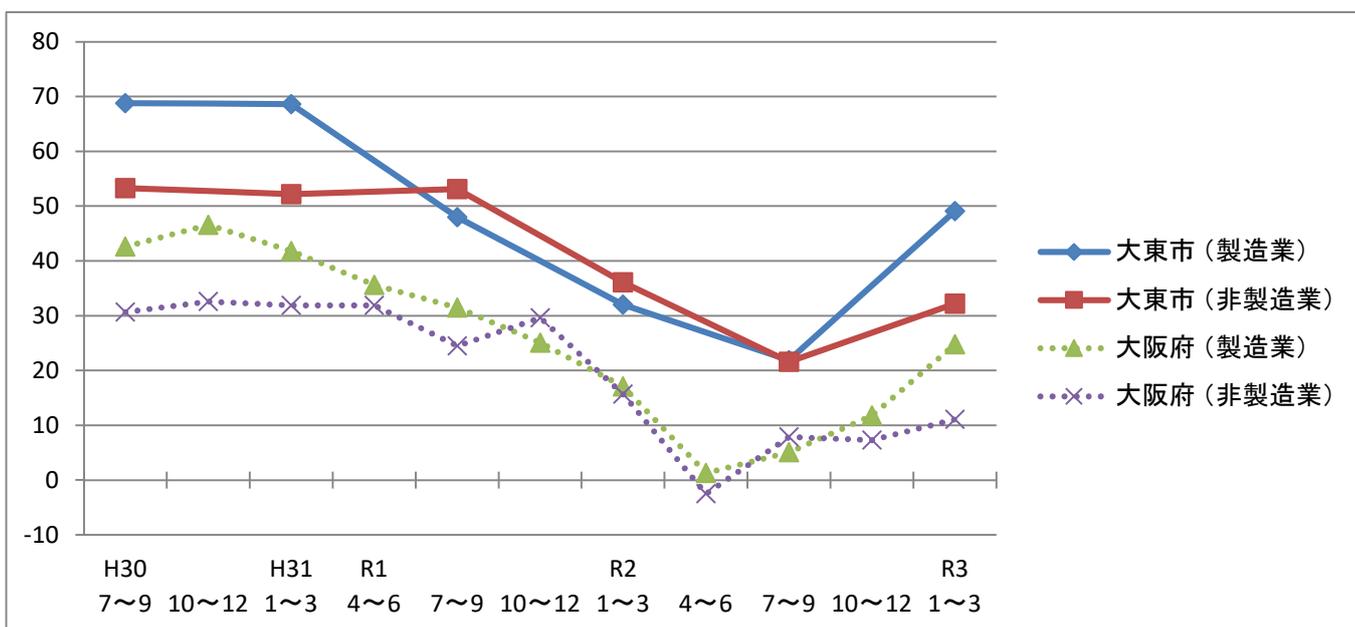
○製・商品、サービス等の単価

製・商品、サービス等の単価DI(「値上り」-「値下り」企業割合)⇒ 製造業:6.0% 非製造業:8.2%
 前回調査結果(製造業:-6.6%、非製造業:2.9%)から、製造業・非製造業ともに上昇した。
 直近の大阪府データ(製造業:-6.9%、非製造業:-15.3%)との比較でも、製造業・非製造業ともに上回る結果となった。大東市内においては、建設業(21.7%)、飲食店(16.7%)の単価が高く、卸売業(0%)、小売業(2.2%)の単価が比較的低位であった。



○原材料・部品等の仕入価格

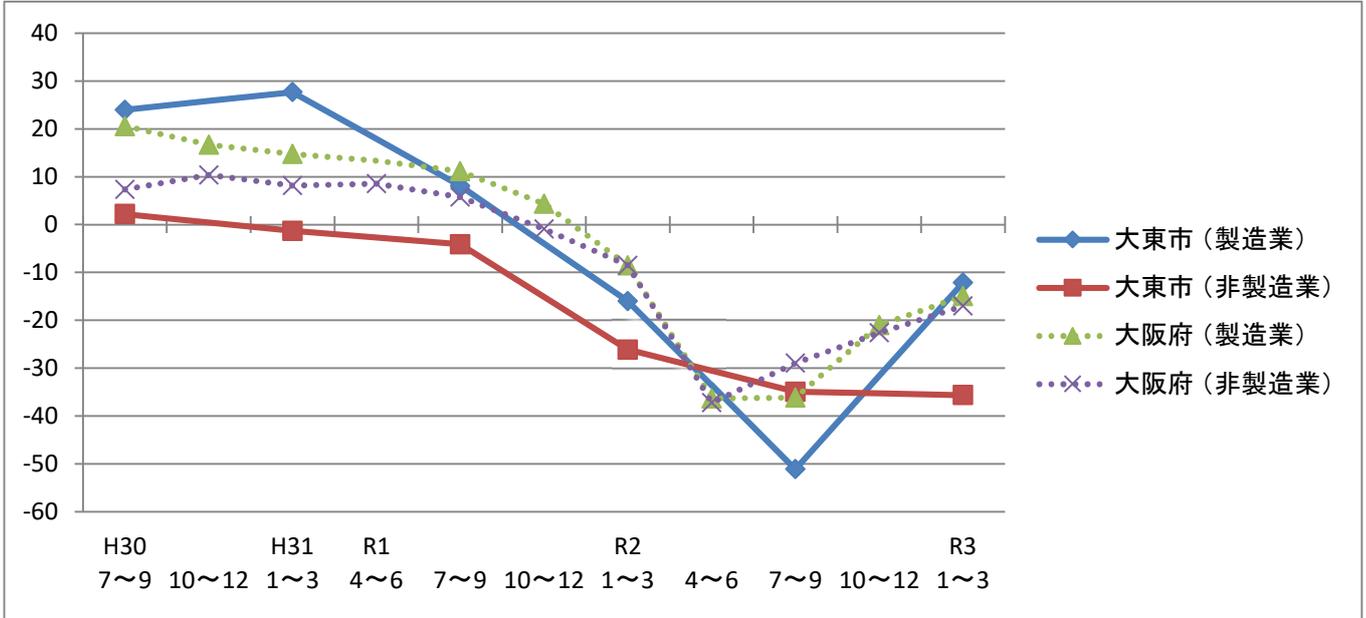
原材料・部品等の仕入価格DI(「値上り」-「値下り」企業割合)⇒ 製造業:49.1% 非製造業:32.2%
 前回調査結果(製造業:21.9%、非製造業:21.6%)から、製造業・非製造業ともに上昇の結果となった。
 また、直近の大阪府データ(製造業:24.8%、非製造業:11.1%)との比較では、製造業は24.3ポイント、非製造業は21.1ポイントのプラスと、市内企業の多くが引き続き仕入価格の値上がりや高止まりを感じている現状が窺える。市内では、製造業とともに建設業(47.8%)での仕入価格の値下がり回答は0件であった。



○営業利益

営業利益DI(「黒字」-「赤字」企業割合)⇒ 製造業:-12.1% 非製造業:-35.6%

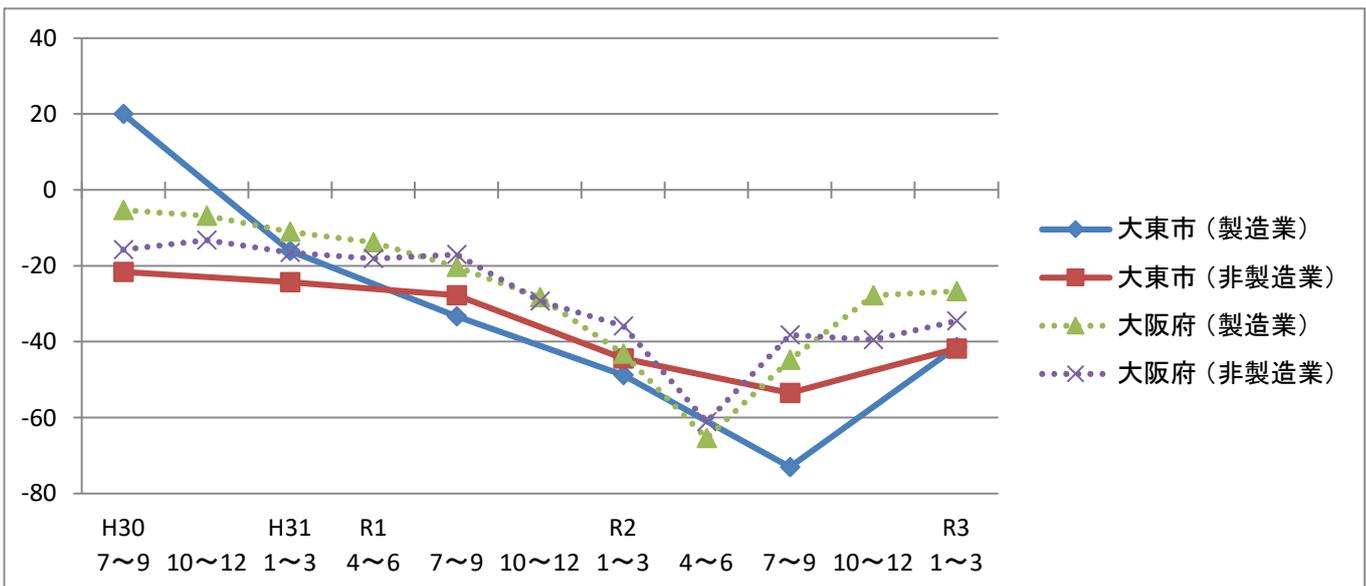
前回調査結果(製造業:-51.1%、非製造業:-34.1%)から、製造業は改善したが、非製造業は下落した。直近の大阪府データ(製造業:-14.9%、非製造業:-17.0%)との比較でも、製造業は若干上回り、非製造業は大阪府の数値を大きく下回った。市内では、特に飲食店(-88.9%)の厳しさが際立つ結果となった。また、今回も全ての業種で「赤字」回答が多く、「黒字」の回答が「赤字」を上回った業種は無かった。



○採算状況

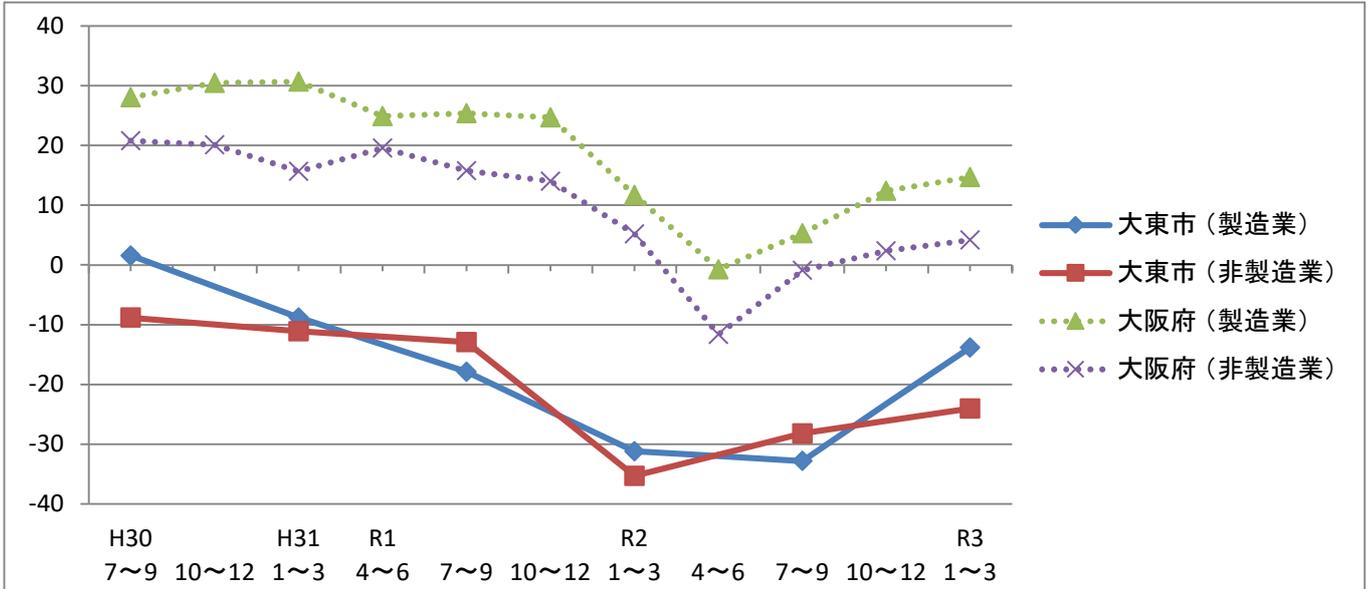
採算状況DI(「良くなった」-「悪くなった」企業割合)⇒ 製造業:-41.4% 非製造業:-41.8%

前回調査結果(製造業:-73.0%、非製造業:-53.5%)から、製造業・非製造業ともに改善した。特に前回の調査で製造業の落ち込みが急であったため、今回の回復基調も比較的急なものとなっている。直近の大阪府データ(製造業:-26.7%、非製造業:-34.5%)との比較でも製造業は14.7ポイント、非製造業は7.3ポイント下回った。採算状況の調査でも、市内の飲食店(-88.9%)、サービス業(-43.7%)の厳しさが目立った。



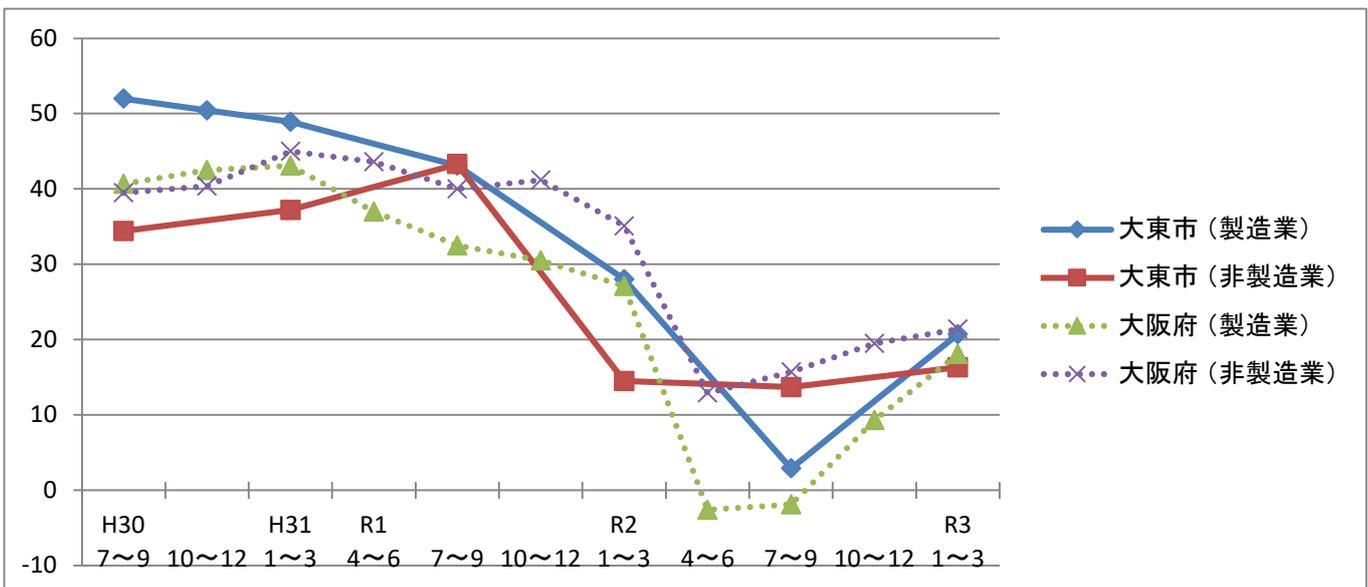
○資金繰り

資金繰りDI(「良くなった」-「悪くなった」企業割合)⇒ 製造業:-13.8% 非製造業:-24.0%
 前回調査結果(製造業:-32.8%、非製造業:-28.2%)から、製造業・非製造業ともに改善した。
 また、直近の大阪府データ(製造業:14.7%、非製造業:4.2%)との比較では、製造業が28.5ポイント、非製造業が28.2ポイント下回っており、今回も飲食店(-72.2%)では平均値から大幅に乖離しているだけでなく、「良くなった」との回答は皆無で、改善余地の大きいことが窺える。従来調査と同様に、大阪府との差が最も顕著な指標であり、市内企業の多くが資金繰りの課題に直面している可能性が高いことが推察される。



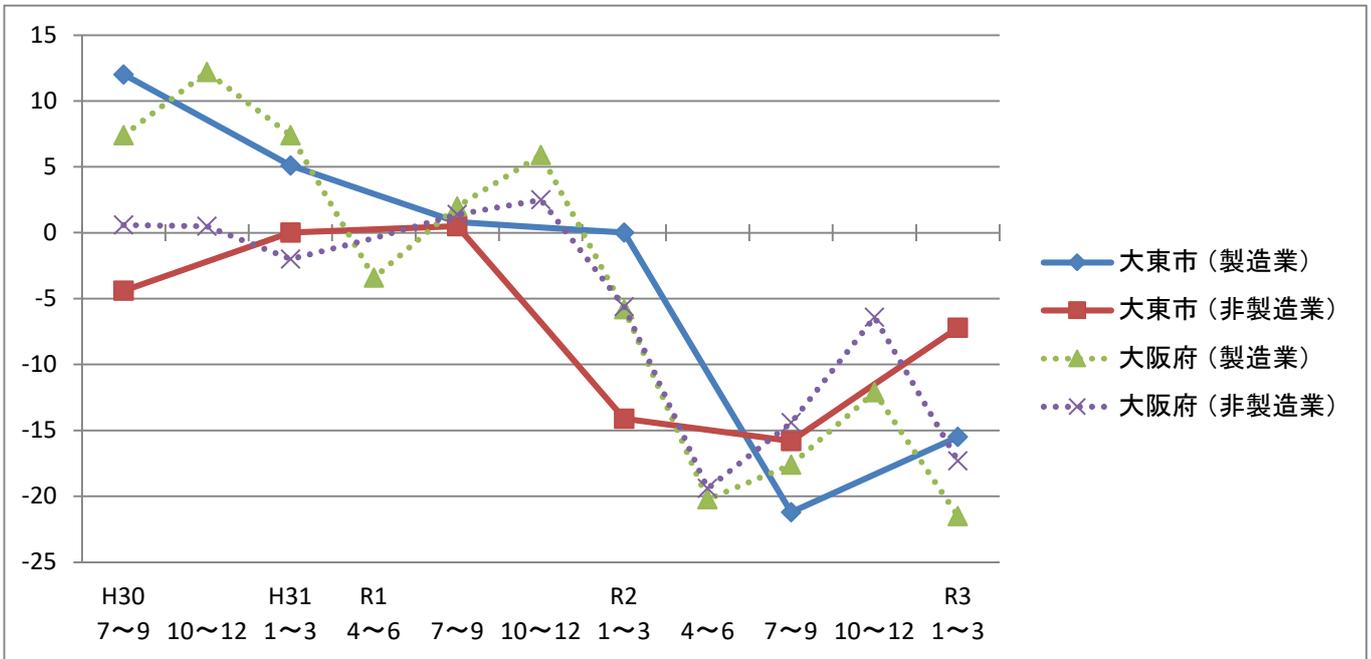
○雇用状況(雇用不足感)

雇用状況DI(「不足」-「過剰」企業割合)⇒ 製造業:20.7% 非製造業:16.3%
 前回調査結果(製造業:2.9%、非製造業:13.7%)から、製造業・非製造業ともに雇用不足感が増加した。
 また、直近の大阪府データ(製造業:18.1%、非製造業:21.4%)との比較では、製造業は2.6ポイント上回り、非製造業では5.1ポイント下回った。大東市内では、製造業の急上昇に加え、引き続き建設業(26.1%)の雇用不足感が目立つ形となったが、その他の業種の雇用情勢には総じて一服感がみられる。



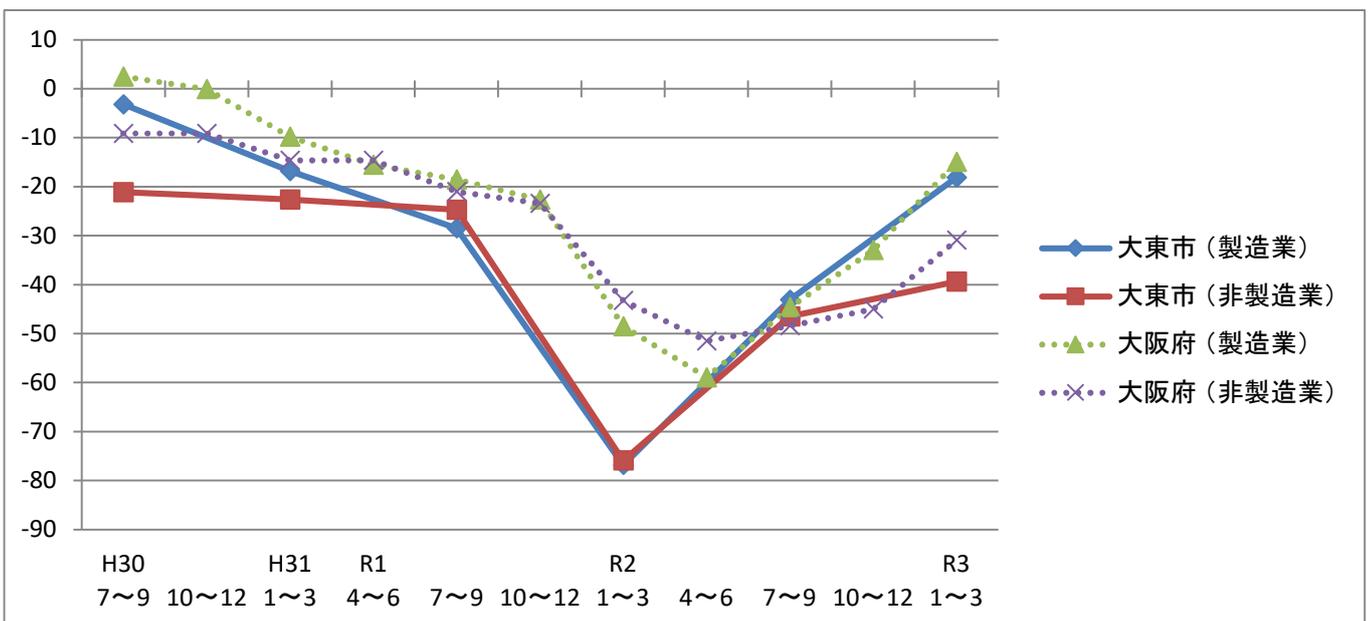
○設備投資

設備投資DI(「増加した」-「減少した」企業割合)⇒ 製造業:-15.5% 非製造業:-7.2%
 前回調査結果(製造業:-21.2%、非製造業:-15.8%)から、製造業・非製造業ともに増加した。
 また、直近の大阪府データ(製造業:-21.5%、非製造業:-17.3%)との比較では、製造業は6.0ポイント、
 非製造業は10.1ポイントそれぞれ上回る結果となった。

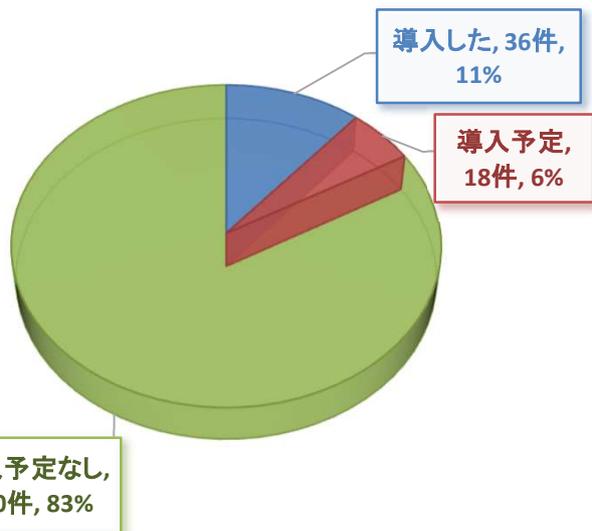


○来期の業況見通し

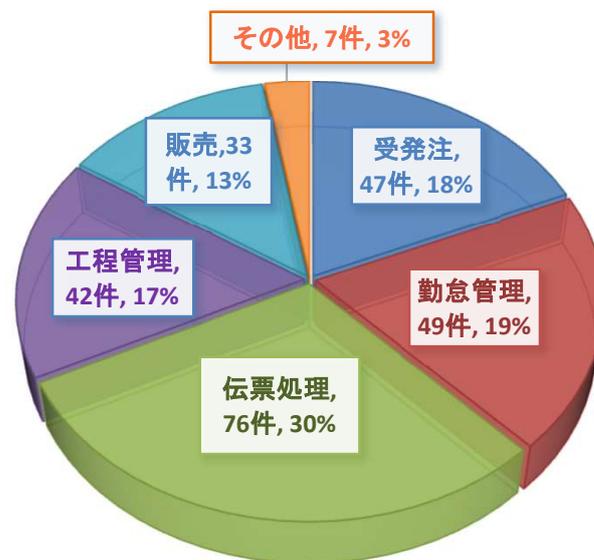
来期の業況見通しDI(「良くなる」-「悪くなる」企業割合)⇒ 製造業:-18.1% 非製造業:-39.4%
 前回調査結果(製造業:-43.1%、非製造業:-46.5%)から、製造業・非製造業ともに改善したが、非製造業の改善傾向は緩やかである。直近の大阪府データ(製造業:-14.9%、非製造業:-30.9%)との比較では、製造業は3.2ポイント、非製造業は8.5ポイント下回り、依然として全ての業種で厳しい結果がみられた。



テレワークの導入



今後デジタル化したい業務 ※複数回答可



※その他の業務として、「WEB会議」「給与管理」「シフト組み」「クレジット」「経理・労務・調達」「仕入れ先との支給データの3D化」「社内申請書類」との回答が寄せられた。

○自由意見(抜粋)

産業分類	従業員数	自由意見
食料品製造業	B	コロナ第4波や別のストレスが発生した場合、相当なダメージが想定される。雇用調整助成金のさらなる延長を要望します。
印刷業	D	国の様々な支援交付金や助成金の制度をタイムリーに広報してほしい。
印刷業	E	デジタル化の項目はすべて実施済みです。
プラスチック製品加工業	B	受注がやや減少気味。業界全体がやや低下気味。運転資金が心配。
表面処理鋼材製造業	C	若い方(18~30)が製造業の現業に就業しない。近年この傾向が顕著で深刻な状況です。将来の年齢構成も大きな問題となります。
非鉄金属・同合金圧延業	D	デジタル化済み。
非鉄金属製造業	B	従業員やその家族にPCR検査受診の補助をお願いできないでしょうか。安心を与える事が大切であると思う。
金物類製造業	A	コロナ禍の影響がすでに1年以上続き、政府の支援制度も底をつき先の見通しがつかない中で、再度持続化給付金や無担保融資等の対策が必要だと思います。
ねじ等製造業	A	デジタル化は不得意。
一般産業用機械・装置製造業	B	材料不足(コロナ禍)において一部のプラスチック、入荷に時間がかかるので先行手配するので資金が大変です。
建築工事業	A	建築工事業ですが管理者が不足している。
とび工事業	B	求人ではなかなか人が来ないです。
建築金物工事業	A	大東市は他市に比べて大変頑張ってくれていると思います。私達1人1人が気をつけることが求められるのではと思っています。それが景気回復につながるのでは。

産業分類	従業員数	自由意見
給排水・衛生設備工事業	B	コロナ禍による給付金、助成金等の詳しい情報を知りたい。
かばん・袋物卸売業	A	取引先に入店することも大変で、売上が上がることはない。
化学製品卸売業	A	行政の支援を定期的に発信する場を設けて欲しい。
婦人服小売業	A	このコロナ禍の中、1店舗閉店し残る1店舗で背水の陣です。取引先もバタバタ倒れていきます。昨年は借入も即段取っていただき支援金でも助かりました。今年はどうしても厳しいです。衣料、物販への支援をもっと考えて欲しいです。
呉服・服地小売業	B	駅前(北側)開発による地域市場の活性化。人口流出を防ぐための魅力ある町づくり、マンション開発、住みやすい環境整備など人口増加政策を施してほしい。
靴小売業	A	リモートになって社員が動かない。年配者が家から出なくなっている。
自動車部分品・附属品小売業	A	飲食業以外へのサポートの充実。また、その発信周知を要望します。
ジュエリー製品小売業	A	国や自治体からの援助があり黒字になっているが、まだまだ不透明です。業況は希望的観測です。ネットでの売上を増やさないとダメだと考えています。
不動産賃貸業	A	店舗の家賃が入らない現状で、飲食業だけ助成するのは疑問。喫茶店を一人でやって一日5千円位しか売上のない店に6万円、4万円を出すのがおかしい。
貸家業	A	不動産貸付業なのであまり大きな変化はないが、家賃の低いところへ転居する人もいる。一度空家になるとなかなかうまらない。
駐車場業	A	設備投資はしたが、費用対効果がない。冷え切っている。
税理士事務所	B	大変厳しい状況と感じています。夏以降の経済状況が不安です。
写真業	A	飲食以外にもフォローしてもらえ体制がありがたいです。
食堂、レストラン	B	国や大阪府からの助成金を早く出してほしい。
中華料理店	A	市に求める事は飲食店においてクラスター対策や、マスクの着用義務などを条例で決定してもらい、きちんと取り締まりしてもらえば意味があると思います。アクリルパーテーションやアルコール消毒液に補助金があると良いと思います。
専門料理店	A	コロナの影響で飲食店としては何も先がみえない。
酒場、ビヤホール	B	コロナ対策の補助金などの申請において前年度の同月との売上比較を求められるが、もうすでに前年同月(例えば2020年4月)はコロナ禍で売上が激減もしくは休業しているので矛盾している。
バー、キャバレー、ナイトクラブ	A	コロナで休業していますが、4月1日現在で未だ1月14日からの協力金が頂けず、さらに休業するので苦しいです。
美容業	B	がんばろうと思っているが、先行きのない事に不安ばかり。返済も待ってんでも払える先が全然見えない。不安でたまらない。
美容業	A	ワクチン接種後の経済活動再開が盛り上がる対応をお願いします。去年の商品券みたいな施策を期待します。
歯科診療所	B	市内の事業所に対して、雇用を促進するための仕掛けをどんどん作ってほしい。

* 従業員数 A…0～5人 B…6～20人 C…21～50人 D…51～100人 E…101人以上